

3 展 示

(1) 常設展示

『未来へつなぐ熊本の記憶 一集める・伝える・創造する一』をテーマとし、1階は熊本の歴史や文化について、2階では人と自然の関わりを中心に紹介している。

展示資料とともに、キオスク端末による映像資料や解説等も行っている。また、音声ガイドによる外国語ガイド(英語・韓国語・中国語)も導入している。

波奈之丸展示室

重要文化財「細川家舟屋形」(藩主細川氏が使用した御座船「波奈之丸」の船屋形部分)を展示している。大藩で用いられた海御座船の舟屋形としては、国内で唯一現存するものである。

才園古墳展示室

重要文化財「肥後国球磨郡免田才園古墳出土品」を展示している。鍔金獣帯鏡や豪華な金銅製馬具類、装身具類、鉄刀などがある。鍔金獣帯鏡は普通の鏡より上位に格付けされ、九州南部の内陸交通の要衝であった人吉盆地の有力者に、近畿中央政権から贈与されたと考えられている。

1階 人文系展示

「熊本の歴史と文化の由来をさぐる」

旧石器時代から中世、そして現在の市街地の基礎が形成された近世を経て、近代の都市・軍都へと変貌した熊本の歴史について紹介している。

2階 自然系展示

「熊本の自然にひそむ魅力と不思議に気づく」

地質分野では、熊本で見つかった化石、岩石、鉱物等の展示により大地の生い立ちを解説している。

生物分野では、熊本市内の身近な自然として、江津湖と金峰山の生態等について紹介している。

縣市連携展示室

熊本県博物館ネットワークセンター所蔵の自然系資料を展示している。



考古展示室



歴史展示室



民俗展示室



地質展示室



生物展示室

(2) 常設展示入替

ア 考古分野

期 間 2月21日(月)～
 内 容 万日山古墳出土灰釉陶器長頸壺の展示
 場 所 1階「古代の肥後国」

期 間 3月14日(月)～
 内 容 藤崎台出土遺物の展示
 場 所 融合展示場1階

イ 歴史・美術工芸分野

【絵画】

期 間 ～12月28日(火)
 内 容 《熊本城南面大観図》(レプリカ)
 場 所 1階「肥後の武士たち」

【刀剣】

期 間 4月15日(木)～7月18日(日)
 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、
 展示期間延長
 内 容 刀(銘 備前国長船春光)
 脇差(無銘)(細川忠興関ヶ原御陣刀)
 場 所 1階「肥後の武士たち」

【陶磁器】

期 間 8月30日(月)～12月28日(火)
 内 容 網田焼(2021年博物館実習生による制作)
 場 所 1階「成熟する肥後」

ウ 民俗分野

期 間 5月21日(金)～
 内 容 肥後緋、桑籠
 場 所 1階「富国強兵と庶民の暮らし」

期 間 5月21日(金)～
 内 容 教員免許状、教科書
 場 所 1階「富国強兵と庶民の暮らし」

期 間 5月21日(金)～
 内 容 農具の配置換え
 場 所 1階「都市周辺の広がる農地」

期 間 6月8日(火)～
 内 容 人力車、厚生車
 場 所 1階「駅舎」

期 間 8月30日(月)～
 内 容 酒造、和傘、瓦、桶、箆笥、行灯
 場 所 1階「富国強兵と庶民の暮らし」

期 間 2月28日(月)～
 内 容 肥後琵琶
 場 所 1階「躍動する民衆」

(3) 期間展示

ア 夏季特別展「銀河鉄道の夜」関連展示

(民俗)

期 間 8月1日(日)～9月5日(日)
内 容 国鉄の制服、時刻表、SL型酒瓶
場 所 2階 多目的スペース

(地質)

期 間 7月17日(土)～9月5日(日)
内 容 小説「銀河鉄道の夜」に登場する鉱物の標本、及び横山又次郎著「古生物學」に関する展示
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

(動物)

期 間 7月17日(土)～9月5日(日)
内 容 小説「銀河鉄道の夜」に登場するサソリの標本及び写真の展示
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

(植物)

期 間 7月17日(土)～9月5日(日)
内 容 小説「銀河鉄道の夜」に登場するリンドウのさく葉標本及び画像の展示
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

イ 干支(寅年) 関連展示

(美術工芸)

【絵画】

期 間 1月4日(火)～3月13日(日)
内 容 杉谷雪樵筆《虎図》
場 所 1階「肥後の武士たち」

【刀剣】

期 間 1月4日(火)～3月13日(日)
内 容 槍(銘 長曾祢興正、東部藤原国住作)
場 所 1階「成熟する肥後」

【陶磁器】

期 間 1月4日(火)～3月13日(日)
内 容 《虎図》の作者・杉谷雪樵が使用した陶磁器類
場 所 1階「成熟する肥後」

(歴史)

期 間 1月4日(火)～
内 容 錦絵「加藤清正」(清正の虎退治) 加藤虎之介宛て豊臣秀吉書状写
場 所 1階「加藤清正、肥後へ」

(民俗)

期 間 12月6日(月)～2月13日(日)
内 容 虎の振り子
場 所 1階 民俗分野展示エリア

(地質)

期 間 1月6日(木)～2月2日(水)
内 容 虎目石(タイガーアイ)と青虎目石(ホークスアイ)に関する展示
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

(動物)

期 間 1月4日(火)～3月4日(金)
内 容 トラにまつわる昆虫標本の展示
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

(植物)

期 間 1月4日(火)～1月30日(日)
内 容 トラノオシダ、トラノオスズカケのさく葉標本および画像
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

ウ 七夕展示(民俗分野)

期 間 6月8日(火)～8月15日(日)
内 容 笹飾り
場 所 1階 民俗分野展示エリア

エ カエデのひみつ (植物)

期 間 11月2日(火)～11月30日(火)
内 容 イロハカエデのさく葉標本及び種子標本を展示。併せて、カエデの種子模型台紙を配布した。
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

オ 化石の中の紅葉 (地質)

期 間 11月5日(金)～12月11日(土)
内 容 2021年博物館実習生製作の季節展示。紅葉の時期に合わせて、イタヤカエデとイチョウの化石標本を展示した。
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

カ 石とクリスマス (地質)

期 間 11月5日(金)～12月11日(土)
内 容 2021年博物館実習生製作の季節展示。十字石や、クリスマスカラーの色鮮やかな鉱物標本を展示した。
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

キ 冬芽コレクション (植物)

期 間 12月1日(水)～
内 容 樹木の冬芽及び葉痕の紹介
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

ク 正月展示 (民俗)

期 間 1月18日(火)～3月27日(日)
内 容 押絵羽子板
場 所 1階「富国強兵と庶民の暮らし」

ケ ハートの葉っぱ (植物)

期 間 2月1日(火)～2月13日(日)
内 容 バレンタインに合わせた展示として、ハート形の葉をしているカタバミなど、植物のさく葉標本を展示した。
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

コ ハートのかたちのクリスタル (地質)

期 間 2月4日(金)～2月27日(日)
内 容 バレンタインデーに合わせて、ハート形の水晶の日本式双晶を展示した。
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

サ 沖縄に漂着した軽石 (地質)

期 間 3月1日(火)～
内 容 沖縄県の海岸に漂着した軽石(福德岡ノ場噴出物とみられるもの)を展示。
場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

(4) 展示会

ア 特別展

夏季特別展 銀河鉄道の夜

—KAGAYA 星空の世界展—

期 間 7月17日(土)～9月5日(日)

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 KAGAYA studio制作「銀河鉄道の夜」関連作品を中心に、イラスト・プラネタリウム番組・星景写真など様々な表現で宇宙・星空の世界を描くアーティストKAGAYA(カガヤ)氏の作品を展示した。

来場者 8,417名



特別展ポスター

イ 企画展

(ア) 震災をふりかえる

—大地とモノが語る熊本地震—

期 間 令和3年(2021年)

3月20日(土)～5月30日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大により

4月25日(日)で終了した。

場 所 特別展示室1・2・3

2階 多目的スペース

内 容 平成28年熊本地震発生から5年が経過する時期にあわせ、熊本地震発生後の当館の取組みや地震の痕跡が残る資料を紹介し、今後の防災や文

化財保存について考える展示とした。

・第1部(特別展示室1)

被災した民間所有の未指定文化財

・第2部(特別展示室2)

熊本地震の発生と熊本博物館

・第3部(特別展示室3)

大地が語る地震の記憶

来場者 5,325名(令和3年度3,304名)

関連行事(令和3年度分のみ掲載)

◎「ふかぶか三葉虫を作ろう

(液状化実験ボトル)」

日 時 4月4日(日)

①10時～10時30分

②14時～14時30分

場 所 実験・工作室

参加者 33名(①18名 ②15名)

◎講演会「2020年7月豪雨で被災した水損資料のレスキュー活動について」

日 時 4月24日(土)13:30～15:00

場 所 講堂

講 師 川路 祥隆 氏

(熊本県教育庁教育総務局文化課学芸員)

参加者 10名

◎熊本地震シンポジウム

日 時 4月25日(日)

13時30分～16時45分

場 所 熊本城ホール・シビックホール

共 催 熊本大学くまもと水循環・減災教育センター

基調講演

・講演者

後藤 秀昭 氏(広島大学)

遠田 晋次 氏(東北大学)

宮下 由香里 氏(産業技術総合研究所)

パネルディスカッション

・ファシリテーター

鳥井 真之 氏(熊本大学)

・パネリスト

水野 直樹 氏 (特定非営利活動法人ソナエトコ)

内田 安弘 氏 (西原村布田地区)

池辺 伸一郎 氏 (阿蘇火山博物館)

南部 靖幸 (熊本博物館)

参加者 90名

※内容は後述6行事・イベント(P45)参照

※令和2年度分の行事等については、「館報 No.33
2020年度報告」参照

(イ) 未来へつなぐ植物の記録

—令和2年7月豪雨で被災した

前原勘次郎の植物標本—

期 間 10月2日(土)～11月28日(日)

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 令和2年7月豪雨によって被災した
人吉城歴史館所蔵のさく葉標本に関
するレスキュー活動や当館で実施し
た作業等を紹介。あわせて当館所蔵
の前原氏採集の標本や資料等も展示
した。

来場者 12,794名

関連行事

◎ミュージアムトーク

日 時 ①10月3日(日)

②11月3日(水・祝)

14時～14時30分

場 所 特別展示室1・2・3

参加者 23名(①12名 ②11名)

◎さく葉標本作製体験講座

日 時 10月16日(土) 14時～15時

場 所 実験・工作室

参加者 11名

◎押し花グッズを作ろう

日 時 11月7日(日)

①14時～14時30分

②15時～15時30分

場 所 実験・工作室

参加者 35名(①16名 ②19名)



特別展示室1



特別展示室2

(ウ) 能楽伝承—熊本の能文化—

期 間 12月18日(土)～2月13日(日)

場 所 特別展示室1・2

内 容 熊本の能文化を隆盛に導いた細川忠
興・忠利や、家老松井家に由来する資
料のほか、寺社へ奉納された能面、能
楽関係資料として新しく熊本県指定
文化財に指定された中村家文書など、
熊本の能文化の豊かさを示す資料を
展示した。

来場者 7,231名

関連行事

◎ミュージアムトーク

日 時 ①12月18日(土)

②2月12日(土)

14時～14時30分

場 所 特別展示室1・2

参加者 22名 (①12名 ②10名)



特別展示室1



特別展示室2

(エ) 収蔵品展「くまはくコレクション 肥後のやきもの」

期 間 3月12日(土)～5月8日(日)

場 所 特別展示室1・2

内 容 創立70周年となる当館がこれまで収蔵してきた陶磁器類を展示。

来場者 1,197名 (3月31日までの来場者数)

関連行事

◎ギャラリートーク

日 時 3月19日(土) 15時30分～16時

場 所 特別展示室1・2

参加者 3名

ウ 共催展

くまもと市 遺跡発掘速報展2021

期 間 12月11日(土)～2月20日(日)

場 所 特別展示室3

主 催 熊本市文化財課、熊本博物館

内 容 熊本市内で近年行われた発掘調査と整理作業の成果を展示した。縄文時代から鎌倉時代までの貴重な資料を公開した。併せて博物館収蔵品と二本木遺跡群から出土した国内外の陶磁器の展示も行った。

来場者 9,174名

関連行事

◎ギャラリートーク

日 時 1月30日(日) 10時～10時30分

場 所 特別展示室3

参加者 11名



エ その他の展示

地球・リュウグウ・そして新たな旅路へ

—はやぶさ2 帰還カプセル特別公開—

期 間 2月25日(金)～3月1日(火)

場 所 特別展示室3

来場者 3,153名

関連行事

◎講演会「宇宙旅行の過去と将来
～宇宙旅客機の実現性～」

日 時 2月27日(日)15時～16時30分

場 所 プラネタリウム室

講 師 小林 健児 氏

(崇城大学工学部宇宙航空システム工学科准教授)

参加者 85名



◎帰還カプセル展等「見学シャトルバス事業」

日 時 2月28日(月)9時～12時

内 容 月曜休館日に熊本市西部及び南西部に位置する小学校5校と当館近隣小学校1校の高学年児童を招待し、特別展示室3で開催中の帰還カプセル展とプラネタリウム一般投映番組「HAYABUSA2 REBORN」を見学・視聴する機会を提供した。

参加者 190名